

Ⅱ. 2013 年度秋季研究発表会のご案内

1. 2013 年度秋季研究発表会のご案内

日本マス・コミュニケーション学会 2013 年度秋季研究発表会を別記の通り開催いたしますので、ご参集のほどお願い申し上げます。

2013 年 9 月 24 日

日本マス・コミュニケーション学会会長 谷藤 悦史

同 企画委員会委員長 小林 直毅

同 企画委員会副委員長 福間 良明

同 企画委員会副委員長 吉見 俊哉

2. 2013 年度秋季研究発表会プログラム

期 日：2013 年 10 月 26 日（土）

会 場：上智大学

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1

TEL 03-3238-3631（文学部新聞学科事務室）

<http://www.sophia.ac.jp/>

会員休憩室 : 12 号館 203 演習室

研究発表会本部：12 号館 102 演習室

連絡先：文学部新聞学科事務室

TEL 03-3238-3631

●研究発表論文集（発表予稿集）のオンライン公開について

個人・共同研究発表の発表論文（予稿）の公開サイトは <http://mass-ronbun.seesaa.net/> です（日本マス・コミュニケーション学会のホームページ <http://www.jmscom.org/> からリンクが貼られています）。2013 年度秋季研究発表会の研究発表論文は 10 月 19 日（土）から上記サイトで公開の予定です。

9:00 受付開始 (12 号館 102 演習室)

10:00 開会

<午前部>

10:00～12:10 個人・共同研究発表

A 会場 (12 号館 201 演習室)

司会者：大谷 奈緒子 (東洋大学)

10:00～10:30 中国のテレビ業界の多チャンネル化に関する研究

沈 霄虹 (上智大学大学院 院生)

10:30～11:00 中国におけるアニメの「走出去」戦略に関する一考察

— 日中共同制作を中心に —

王 梓安 (北海道大学大学院 院生)

11:00～11:30 コント番組から見る女性イメージ

— ザ・ドリフターズを事例に —

石田 万実 (同志社大学大学院 院生)

11:30～12:00 テレビドラマにおける戦争描写と戦時の女性表象

— 日本の NHK 朝の連続テレビ小説を例に —

黄 馨儀 (同志社大学大学院 院生)

B 会場 (12 号館 202 演習室)

司会者：鳥谷 昌幸 (武蔵野大学)

10:00～10:30 テレビ番組遠隔視聴サービスをめぐる裁判例の日米比較

城所 岩生 (国際大学)

*この研究発表は、発表者のやむを得ない事情によって 2013 年度春季研究発表会における発表が中止されたものです (企画委員会)。

10:30～11:00 日中における国際報道の比較研究

— 「尖閣諸島衝突事件」に関する新聞報道を中心に —

丁 偉偉 (同志社大学大学院 院生)

11:00～11:30 憲法記念日の言説分析

高木 智章 (慶應義塾大学大学院 院生)

- 11:30～12:00 レイプ言説のパラダイムシフト
—米国誌『Ms.』を中心として—
栗木 千恵子 (中部大学)

C 会場 (12 号館 301 演習室)

司会者：山口 仁 (帝京大学)

- 10:00～10:30 中国のポータルサイト・ニュースの情報源の多様性の検証
—新浪網の温州高速鉄道事故報道を事例に—
于 海春 (早稲田大学大学院 院生)
- 10:30～11:00 地域紙がない大都会の「情報過疎」に関する実践的考察
—目黒区の防災問題を新聞に代わり取材・発信する活動から見えるもの—
上出 義樹 (上智大学大学院 院生)
- 11:00～11:30 被災地におけるネット選挙解禁の影響
—2013 参議院議員選挙の事例から—
後藤 心平 (東北大学大学院 院生)
- 11:30～12:00 新聞で語られた東日本大震災における「フクシマ」と「ふくしま」
小林 宏朗 (立教大学)

D 会場 (12 号館 302 演習室)

司会者：西山 哲郎 (関西大学)

- 10:00～10:30 メディアテクノロジーに媒介された声
—クルーナー歌手 Rudy Vallée の実践を事例に—
福永 健一 (関西大学大学院 院生)
- 10:30～11:00 台湾バラエティ番組罰ゲームの受容
—小中学生調査を中心に—
楊 仲軒 (関西大学大学院 院生)
- 11:00～11:30 アメリカのテレビドラマにおけるマダム・バタフライ
—*The Courtship of Eddie's Father* を例に—
俣野 裕美 (同志社大学大学院 院生)
- 11:30～12:00 テレビ番組における炭鉱・産炭地の表象とその問題機制
—NHK アーカイブス学術利用トライアル研究から—
木村 至聖 (甲南女子大学)

E 会場（12 号館 401 演習室）

司会者：阪本 博志（宮崎公立大学）

- 10:00～10:30 明治 30 年代における新聞スポーツジャーナリズム
—大阪毎日新聞の分析を通して—
綿貫 慶徳（上智大学）
- 10:30～11:00 大正期における地域事業としての蔵書施設の形成
新藤 雄介（東京大学大学院 院生）
- 11:00～11:30 関東軍と満州国時代の最後の日本人経営中国語新聞について
—『康徳新聞』を中心に—
華 京碩（龍谷大学大学院 院生）
- 11:30～12:00 五百木良三と『日本及日本人』
石川 徳幸（日本大学）

F 会場（12 号館 402 演習室）

司会者：水島 久光（東海大学）

- 10:00～10:30 ミャンマー軍政時代におけるインターネット技術の役割
—2009 年の医療ミス問題をめぐる世論形成—
テッテツヌティ（東京外国語大学大学院 院生）
- 10:30～11:00 中国チベット族・ウイグル族のインターネット利用とアイデンティティ形成
金 雪（慶應義塾大学）
- 11:00～11:30 「高度経済成長期」の日中両国の社会における<ミドルクラス>の実態・
イメージ・意識 —階層階級研究とメディア研究を理論的・実証的につな
げた比較社会学の試み—
周 倩（東京大学大学院 院生）
- 11:30～12:10 世界 13 か国におけるグローバルジャーナリズムのオーディエンス調査分析
—誰が、何を、何のために視聴しているのか—
○鈴木 弘貴（十文字学園女子大学）
○綿井 雅康（十文字学園女子大学）

<昼の部>

- 12:20～12:40 会長・開催校挨拶・名誉会員証授与式（12号館 502 演習室）
- 12:40～13:30 上智大学創立 100 周年記念講演（12号館 502 演習室）
武市英雄 上智大学名誉教授「上智大学と新聞学研究」
* 記念講演には非会員の方も出席されます。
- 13:30～14:30 昼食（週末のため大学内の学生食堂は使えません。学内に持ち込んで飲食をされる場合は 12号館 203 演習室をご利用ください）
理事会（2号館 510 会議室A／昼食を用意します）
ワークショップ打ち合わせ（各ワークショップ会場／昼食を用意します）

<午後の部>

- 14:40～17:10 ワークショップ

ワークショップ 1（12号館 201 演習室）

臨時災害局からコミュニティ放送への移行における課題と展望

司会者：松浦 さと子（龍谷大学）

問題提起者：金山 智子（情報科学芸術大学院大学）

討論者：日比野 純一（京都大学大学院 院生）

（企画：松浦さと子会員）

ワークショップ 2（12号館 202 演習室）

テレビ視聴の現在値 — 「テレビ 60 年調査」より—

司会者：渡辺 久哲（上智大学）

問題提起者：木村 義子（日本放送協会）

討論者：濱野 智史（日本技芸リサーチャー）

（企画：放送研究部会）

ワークショップ 3（12号館 301 演習室）

日本型ジャーナリズム・スクール認証制度の可能性

—米国 ACEJMC 調査の知見から—

司会者：藤田 真文（法政大学）

問題提起者：金山 勉（立命館大学）

（企画：藤田真文会員）

ワークショップ4 (12号館 302 演習室)

視聴者主権のテレビ番組評価法

司会者：渡辺 武達 (同志社大学)

問題提起者：小玉 美意子 (武蔵大学)

討論者：津田 正夫 (立命館大学)

(企画：理論研究部会)

ワークショップ5 (12号館 401 演習室)

日本映画教育史のフロンティア —イメージの過去・現在・未来—

司会者：長崎 励朗 (京都文教大学)

問題提起者：渡邊 大輔 (日本大学芸術学部)

討論者：赤上 裕幸 (防衛大学校)

(企画：メディア史研究部会)

ワークショップ6 (12号館 402 演習室)

安倍政権のメディア戦略と日本のジャーナリズム

—自民党・TBS取材拒否問題などを手がかりに—

司会者：藤森 研 (専修大学)

問題提起者：音 好宏 (上智大学)

(企画：ジャーナリズム研究・教育部会)

ワークショップ7 (12号館 502 演習室)

初音ミクは〈新しい天使〉か

—ベンヤミン『複製技術時代の芸術作品』のアクチュアリティ—

司会者：辻 大介 (大阪大学)

問題提起者：遠藤 薫 (学習院大学)

討論者：谷口 文和 (京都精華大学)

(企画：企画委員会)

17:30～19:30 懇親会 (9号館カフェテリア)